

おばあちゃんって、あつたかい

山本 結愛^{やまもと ゆづな}

「ママ、はやくおばあちゃんに会いたい。」
「とおくてすぐあえないから、コロナがすくなるまでがまししようね。」

ずっとずっとまわっていたら3ねんたった。さいごにあつたのは、わたしがねんしょうのうんどうかいをみにきてくれたとき。もうわたしはいちねんせい。

ずっとあえなくてさみしくて、たくさんがみをかいておくれた。ママにテレビでんわをしてもらっておじいちゃんおばあちゃんとおはなしをした。でもほんとうは、あつてだっこしてもらいたい。おじいちゃんおばあちゃんもあつてぎゅうしたいっていつてくれているけれどそれができない。ずっとさみしい。

このなつやすみにやつとおばあちゃんちにひこうきにのっていることになった。あとなんにちねたらあえるかまいにちワクワクした。

ひこうきがついておじいちゃんおばあちゃんにあえたとき、ここにこでやくそくしていただっこときゅうをしてくれてこころがほかほかあつたかくなつた。

いえについて、おばあちゃんがよういしてくれていたのはかわいいうんぴースたち。これはママがいちねんせいだったときに、おばあちゃんがママにつくつたものだった。ママ

が6さいでそのうんぴースをきていたときのしゃしんもたくさんみせてくれた。それをいまわたしがきている。おばあちゃんがいさいころのママにつくつたものをわたしがいまきていて、ふしぎなきもちだつたし、とつてもうれしかった。となりでママとおばあちゃんもとつてもうれしそうにわたしたしはもううれしくなつた。またころがほかほかあつたかくなつた。

いっしょにおでかけしたりおはなしして、おばあちゃんも、「うれしいね。ころがあつたかいね。」

つてたくさんいつてた。いままでもわたしがおくれたがみはぜんぶかべにかざつてあつた。おばあちゃんつてすてきなパワーをもっている。

さいご、かえるときはさみしくてたくさんみだがでた。かえりたくなかつた。でもおうちにかえる。これからは、おばあちゃんもきもちがまつたうんぴースをきて、あつたかいきもちになつていつばいてがみをかこう。いままでもおばあちゃんからもらったたからもののがみをよんで、またつきあえるまでがんばろうとおもつた。

おばあちゃん、いつもありがとう。
ずっとずっと、げんきでいてね。だいすき。